

キャリアセミナー（国際貢献）

【テーマ】国際協力における NGO の役割

～活動に生かす研究者の知見～

【日 時】平成 24 年 10 月 19 日

【講 師】長 有紀枝さん（NGO 難民を助ける会理事長、立教大学教授）

【感 想】

●何事にも関心を持つのにルーツがあり、それから縁や偶然が重なって今に至っているということが印象的だった。NGO の特徴である多様性に関しては、初めて知った。政府はあらゆることに対応しなければならないのに対し、NGO は難民支援、緊急援助、環境、人道などの1つのことを中心に対応するからこそ、専門性も高まり、大きな役割が果たせるということも理解できた。

●「人生の本舞台は常に将来にあり」という言葉と、長先生の「学問をしたい」という熱意、実行力、信念が印象的だった。NGO のミッションは心に響いた。現在、NGO「Because I am a girl」という団体に興味があるので、長先生のお話を伺えて NGO のミッションを学ぶことができた。

●NGO ごとの目的や意識の違いで、いろいろな判断の答えが大きく変わるということがとても印象的だった。何が正しいのか、答えはない中で、自分たちの軸をブレさせないことは大切だと感じた。今後、自分が新しい活動をしていく時の参考にしたい。

●やりたいことがあれば、いつでも遅くない。長有紀枝先生は浪人をしたし、博士号は40歳すぎに取った。環境にまけずに一直線に進む性格に感心します。

●国際協力への関わり方には切り口が多すぎて、とても複雑。何が正解か、今日のお話を聞いても、よく分からなくなってしまうところがあったが、また、異なる視点から考えるきっかけになった。